

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		在宅医療・介護連携推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010603000913
						単独/補助	補助		
政策体系		政策体系上の位置付け				事業期間		事務事業No.	
総合計画の施策名		0106 高齢者福祉の推進				単年度繰返し (平成27年度~)		040501	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		所属課	
施策名		06 高齢者福祉の推進						040501	
手段名		03 ③地域包括ケアシステム体制づくりの推進						課長名	
								グループ	
								地域包括支援グループ	
								担当者名	
法令根拠		介護保険法、介護保険法施行規則、桜川市在宅医療・介護連携推進事業実施要項、桜川市在宅医療・介護連携推進協議会設置要項							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>医療と介護を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、在宅医療・介護を担う医療と介護の関係者が一体的に連携し、切れ目ないサービス提供体制の構築を目的としている。</p> <p>具体的な取組として、①地域の医療・介護の資源の把握、②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討、③切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進、④医療・介護関係者の情報共有の支援、⑤医療・介護連携に関する相談支援、⑥医療・介護関係者の研修、⑦地域住民への普及啓発、⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携、の8本の柱が挙げられる。</p>	<p>推進協議会にて、事業実施計画の内容検討と実績の評価を行う。ワーキングチームとして、実行委員会を設置。実行委員会において、在宅医療と介護に関する普及・啓発活動、多職種の連携強化、多職種間の連携がスムーズに図れるよう、情報連携システムの活用促進等についての検討を行い、実践する。医療・介護連携に関する相談支援業務を医療法人隆仁会さくらがわ地域医療センター、大和クリニックへ委託する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
協議会・実行委員会開催事務、研修会・講演会等の開催事務、情報連携システム活用促進への取組、医療・介護連携に関する相談支援業務の委託事契約務、管内保健所連携推進会議出席、県報告出席と年間実績報告	在宅医療・介護推進協議会開催数	開催回数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	在宅医療・介護推進実行委員会開催数	開催回数	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	多職種研修会等の開催数	開催回数	5.00	5.00	3.00	3.00	3.00
	市民講演会等の開催数	開催回数	1.00	7.00	5.00	5.00	5.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市民	人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
	65歳以上の人口	人	13,769.00	13,810.00	13,849.00	13,779.00	13,770.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
在宅医療・介護を必要とする市民が安心して生活することが出来る。	在宅医療について理解している市民の割合	%	57.70	58.90	59.00	60.00	61.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,166	1,147	1,277		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	582	573	638		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	697	685	764		
			一般財源	千円	582	573	638		
			事業費計 (A)	千円	3,027	2,978	3,317		
		正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	264		01 報酬	504	
	07 報償費	114		07 報償費	123	
	10 需用費	137		10 需用費	166	
	11 役務費	63		11 役務費	124	
	12 委託料	2,400		12 委託料	2,400	
	合計		2,978	合計		3,317

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会の開催 (年1回) 実行委員会の開催 (年5回) 多職種研修会の開催 市民講演会、出前講座の開催 相談支援業務委託事務 	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会の開催 (年1回) 実行委員会の開催 (年5回) 多職種研修会の開催 市民講演会、出前講座の開催 相談支援業務委託事務 	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会の開催 (年1回) 実行委員会の開催 (年5回) 多職種研修会の開催 市民講演会、出前講座の開催 相談支援業務委託事務

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	事務事業No.	10603000913	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成27年度の介護保険制度の改正により、包括的支援事業として開始した。市の実情を踏まえ、令和3年度にICTによる情報共有システムを導入した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 医療・介護関係者より、情報の共有と連携が必要であるので今後も継続して欲しいとの意見があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 医療や介護職が連携して、包括的かつ継続的に在宅医療・介護サービスが提供できる体制を構築することは、市民が安心して生活できる地域社会づくりにつながることから、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 在宅生活を希望する市民が、医療や介護のサービスを円滑に受けることが出来る体制を構築する為、医療職と介護職をつなぐ場をつくり、課題を抽出して改善し、在宅医療体制の充実を図ることに、公共が関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 在宅医療・介護の連携体制が充実することで、在宅での医療や介護を希望する市民が増えると想定されるため、成果の向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 介護保険法に基づき、地域包括支援センターで実施しなければならない事業と定められており、廃止・休止は出来ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、会議開催費や人件費のため削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民が対象であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	1回推進協議会、5回実行委員会を開催。令和3年度導入のICT情報共有システムの活用促進に引き続き取り組み、医療機関・介護事業所107か所(市内登録率77.3%)登録あり。医療・介護に携わる委員と検討しながら、多職種研修会と市民講演会や出前講座の開催等に取り組んだ。医療・介護連携に関する相談支援窓口の認知度及び利用率が低い現状がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
○ICT情報共有システムの活用促進 システム登録していても未利用者がある実態があり、多職種連携の強化のため、システム活用促進及び普及啓発の方法について検討が必要である。 ○医療・介護連携に関する相談支援の機能強化 令和6年度から相談窓口を2か所に増設し、医療・介護関係者がより円滑に連携できることで、在宅で生活する高齢者への適時適切なサービス提供に還元できるようにする。医療・介護関係者に対し、相談窓口の周知広報を行っていく。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>